

**【EUのドイツとフランスは
米ドル決済を使わない INSTEX（インステックス）活用を
進めていく】**

⇒編集後記で

~~~~~

どうもゆうです。

こんにちは！

さてさて、昨日ですが FXN さんの FX ワールドアカデミーを

購入した方に

特典のほうも配布開始しておりますね～

特に月額 12000 円のはずの FXN の EXPRESS って

サイクル理論のサインソフトも今回ついてますが、

これも検証したらかなり使えると思うので

購入された方は是非サイン検証などもされてみてくださいね～

それで、インストールに関してはPDFより

購入者さんに配ってる FXN の説明動画のインストール方法が

分かりやすいと思いますので

結構 EXE ファイルとか DLL ファイルとかインストール場所が

別フォルダなんで、

説明動画なんかを見てインストールされると早いと思います！

さて、それで昨日ですが

以下の内容をお渡ししました。

## PDFレポート

【NY ダウが27000ドル超えの中、  
ドル円が107円台の相関現象 について2月のメルマガから考える！】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/ny27000\\_dollar107.pdf](http://fxgod.net/pdf/ny27000_dollar107.pdf)

それで

それで実はこの現状で、イラン関係の話で

ヨーロッパのEU なんかがですね、

最近は「ドル決済を使わない INSTEX」（インステックス）って言って

もうドル決済から徐々に抜けようとしておりますよね。

そして実はマレーシアのマハティールなんかも最近

「アジア通貨創設」を言い出してます。

これら両者は日本では報道されていないものの

「もうアメリカドル決済に依存するのはやめよーぜ〜」

ってことで大事な動きですね。

今日はその辺をもう少し考えたいと思います！

編集後記で！

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDFレポート

【NY ダウが27000ドル超えの中、  
ドル円が107円台の相関現象 について2月のメルマガから考える！】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/ny27000\\_dollar107.pdf](http://fxgod.net/pdf/ny27000_dollar107.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDFレポート（コラム）

「私たち人類は実は何も知らない!？」

[http://fxgod.net/pdf/muchi\\_no\\_chi.pdf](http://fxgod.net/pdf/muchi_no_chi.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

メルマガバックナンバーより

【副島隆彦先生と田中研究員の「NHKをぶっ壊す」についての  
最新言論を見る！】

<http://www.fxgod.net/a/groups/8042063/soejima20190718/>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDF【「生産性」をあげると誰でも楽しんで稼げる、という話】

<http://fxgod.net/pdf/seisansei.pdf>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**FXNの動画「+105万円利益確定のトレードの説明動画です！」**

⇒ <http://www.snatchfx.com/fxn150man>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**PDFレポート【天井の時間帯は！？】**

<http://fx-ntre.com/pdf/ci5.pdf>

**【FX 天井・底の時間帯が分かる手法】サイクル理論とは！？**

<https://youtu.be/a4AAr-xn4FY>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**【FX サイクル理論動画】ライト・レフトトランスレーションの  
エントリー戦略とは？（FX・Nが徹底解説）**

⇒ [http://www.snatchfx.com/cycle\\_trade](http://www.snatchfx.com/cycle_trade)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

**【動画】スーパートレーダーFX・Nが教える  
「サイクル理論・入門」を公開！**

⇒ [http://www.fxgod.net/a/groups/7091080/fxn\\_cycle1/](http://www.fxgod.net/a/groups/7091080/fxn_cycle1/)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆



【FX・NさんのPDFレポート1】

「サイクル理論とは何か？」

⇒ [http://fxgod.net/pdf/cycle\\_theory.pdf](http://fxgod.net/pdf/cycle_theory.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【FX・NさんのPDFレポート2】

「サイクル理論トランスレーション編

トランスレーションを理解して「波の性質」を見極める！」

⇒ [http://fxgod.net/pdf/cycle\\_translation.pdf](http://fxgod.net/pdf/cycle_translation.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDF【サイクル理論損切りラインの決め方とは！？】

⇒ <http://fx-ntre.com/pdf/ci2.pdf>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【PDF】大富豪たちが使う「サイクル理論の構成」とは？

⇒ [http://fxgod.net/pdf/cycle\\_kousei.pdf](http://fxgod.net/pdf/cycle_kousei.pdf)

PDF【サイクル理論天井と底はどこ！？】

⇒ <http://fx-ntre.com/pdf/ci3.pdf>

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

【動画】分割決済の方法はこちら↓

⇒ <https://www.youtube.com/watch?v=huDd8YAX4qA>



＝＝＝＝＝＝＝＝＝編集後記＝＝＝＝＝＝＝＝＝

さてさて、昨日ですが

「EU が使い出す、非 米ドル決済の INSTEX」

の話を書きました～

今までは「米ドルで決済するのをやめるぞ！」なんてことを

政治家が言い出したら

普通に変死とかで暗殺されていたものでしたが、

最近はまだトランプ大統領誕生後・・・

どんどん世界が「米ドル決済をやめていくぞ」

という流れになっておりますよね。

**PDFレポート**

**【NY ダウが27000ドル超えの中、  
ドル円が107円台の相関現象 について2月のメルマガから考える！】**

⇒ [http://fxgod.net/pdf/ny27000\\_dollar107.pdf](http://fxgod.net/pdf/ny27000_dollar107.pdf)

それで、昨日の簡単な復習で

以下に昨日の内容を引用です！

=====

ついに7月11日の電話会談を機に

ロシアとウクライナがこれから事実上

仲直りする方向になりました。

だからこれから「EU＝ドイツ・フランスたち」がですね、

ロシアとウクライナの仲裁をしていきます。

それで今考えられる事象としては

トランプ大統領が また「わざと喧嘩ふっかける」ことだけど

ドイツとフランス、そしてロシアが今協力して

ロシアの天然ガスを、ドイツなどのヨーロッパに運ぶ

海底パイプラインを作ってるんですよ。

「ノルドストリーム2」っていう。

それでたぶんですがトランプが

「ドイツフランスは ロシアに協力するのか！

じゃあ経済制裁する！」

ってやるかもしれない。

「おまえら EU は、ロシアじゃなくてアメリカ様から

シェールガスで増産した天然ガスを買え！」

ってやるかもしれない。

けど・・・これはトランプの策であって

そうならば

ドイツやフランスなど EU は

「いや、お断りします。ロシアから買います」

となる可能性が高い。

トランプはそれを狙っていると見えます。

シェール業界ってのも金融詐欺みたいなものですから、

トランプは本当はこんなもの保護しようとも思っていないわけですね。

だからいずれシェール産業では社債を相当発行してるけど

それがアメリカのジャンク債市場なんだけど

このジャンク債市場が2020年代にぶっ壊れることは

サブプライムがそうであったように想定できますよね。

それでここに出てくるのが「イラン問題」でありまして、

トランプはイラン制裁を言ってるんだけど



あれは・・・まったく同じ構造で

「イラン制裁しろ」とトランプがEUに言ってもですね、

EUはそんなのできない。

イランと仲良くしたほうが経済的な見返りがあるのが

EUの状況です。（日本も同じ）

だから、トランプが「イラン制裁しろ」って

EU各国などに圧力かけるのはこれは

政治家の表と裏を見られないといけなくて、

表では 「イラン制裁しろ」ですけど

裏の本当の狙いは「イランとEUたちがドルを使わない

非米ドル決済」

を進めさせるのが目的ですね。

だからこのトランプ大統領の

「表向きむちゃくちゃいうけど、

実は裏での 各国の対米従属を自立方向に

導く」

っていう戦略は知っておく必要があります。

すなわちそこでトランプは「ドル覇権放棄」を進められる

わけでした、

最終的にはイギリス諜報機関が作り上げた

アメリカの債券金融システムを将来的に瀕死状態に

追い込める。

それで最近、早くも EU が動き出していて

ドイツとフランスは「INSTEX インステックス」

を稼動すると発表しだした。

この「INSTEX インステックス」ってのは

アメリカのイラン制裁を回避するために

「ユーロ建て」での対イラン貿易のシステムですが

となるとユーロ需要は長期で

比較的増えていくって話は想定できますよね。

それでロシアも「INSTEX インステックス」に  
参加する意志を3日前の7月18日に示してます。

となると、今までは、ロシアとEUはそれぞれ  
別に アメリカのトランプ大統領のイラン協定離脱への  
対応をしていたけど、

これから「INSTEX インステックス」を通じて、

EUとロシアは合体して、

米ドル決済から抜け出して イラン制裁を回避していく

ってことですよ。

これからもしトランプ大統領が

上記 天然ガスパイプラインの ノルドストリーム2の

建設を理由にロシアを制裁したとして、

そうすると、EU はイランだけじゃなくてロシアとも

つながってる ユーロ決済の INSTEX インステックスを使って

それでイランだけじゃなくてロシアとも天然ガス貿易を

続けられるってことです。

だから今まではEU のドイツフランスの貿易会社たち

ってのは

米ドルを買わざるを得なかったけど

これからはユーロ買って INSTEX 上で決済を進めていく

って長期の方向性が7月18日あたりでもう決まったな

ってことですね。

だから「EUによるアメリカへの反撃」でありまして、

「これ以上、アメリカが制裁、制裁って言っても

俺らドイツやフランスは INSTEX 使ってユーロ決済使うから

ドルなんて使わないよ」

ってことになっていく。

となるとさらに米ドルは基軸通貨ではなくなっていく

ってことですね。

すなわち、この状況を進めてるのが本当はトランプで

だからわざと過激に 制裁なんかを進めてるんだけど

本当は彼は米ドル覇権崩壊を狙ってるのが分かります。

私はトランプ支持ですが

恐ろしい大統領なんですよ、彼は。

ただ自分の再選のための 広報の数字として

NY ダウの株価だけは必要ですから、

それはパウエルにこれから実質の利下げ、QE4 みたいな

させて、ジャブジャブマネーで吊り上げるんだけど

この辺の政治見ていると

今の市場って露骨だな、つてのは感じます。

それで今トランプはイラン敵視策を

表面上やっていますが、

これは EU とかロシアとか中国などがアメリカの米ドル決済を

使わないように仕向けるものですから、

すなわち、これからイランは相当高い確率で

経済発展しますよね。

中東の経済大国になっていく。

=====

以上です！！



これを昨日メルマガの後半のほうに書きました。

ということで簡単に言ってしまうと

「ロシアとウクライナが今まで戦っていた。

その目的は EU のドイツとフランスがロシアとくっつくのを

米ドル防衛側が妨害するためであったけど

⇒（背後のトランプの仕掛けもあり）この前ロシアとウクライナが

仲直り状態に

⇒本格的に ドイツとフランス（EU）がロシアとくっついていく

⇒ 米ドルに頼らない、非米ドル決済を進めていく」

って流れがこの2019年の7月22日の段階では

形成されだしているってことですね～

だから米ドルなんかは短期では当然戻しはあるんでしようが

ただ長期的に5年10年スパンで見ると、

やはり現在の世界基軸通貨の地位は崩壊していく可能性が高い

ってのが大きな世界の状況となっているわけですね。

が、多くの読者は思う。

「え?? そんなすごい事態が起こってるのに

私は INSTEX (インステックス) って言葉自体

知らなかったんですけど」

と。

そう、これが情報統制です。

一応日本のマスコミの情報分析をすると分かるけど、

彼らが一番報道したくないのが

「米ドル決済離れ」関係のニュースですよね。

これは日本のマスコミってのは記者クラブってのに属していて、

その記者クラブってのはそれぞれ官僚の担当者がいて、

その官僚からマスコミが情報もらって、

官僚に言われたとおりに記事書くってのが

日本のマスコミの実態だけど、

日本の官僚たちってのは 米ドル基軸通貨ってのが  
権威の源泉ではありましてそれにつながるものとして

米軍基地があるのだけど

だからこの米ドル決済離れが世界で進んでるってのは

あまり大衆に知られたくないのですね。

そういう政治がありまして日本人には

こういう米ドル決済離れが進んでるって情報が

日本語で伝わらないようになってるわけです。

情報統制が良くできてるのが日本という国で

実はそんなに最近では 情報の自由度でいうと

日本と北朝鮮と大差ないって話なんですね。

それで大きな変化が実は今 EU で起こっていて、

今までは EU っていうのもアメリカの（正確に言うと

アメリカの金融システムを支配するイギリスの諜報機関の）

属国であったわけです。

ただもう最近はいギリスの EU 離脱であったりとか

その後のトランプ大統領の誕生で、

この EU の属国状態っていうのは終わっていく。

ちなみに 国民感情的に言いますと、

私なんかはドイツの友達と接することが結構多くて

ちよくちよく話すけどやっぱりドイツ人ってのは

アメリカがあまり好きじゃない。

よくドイツ人はアメリカの文句言ってるのを聞きます。

やはりこの数十年のアメリカの横暴ってのがあって

それに腹立ってるドイツの一般の人々ってのは多い

ものですよね。

これはフランスも一緒だ。

ちなみに私ゆうがよく覚えてるのが韓国で会ったフランス人で

このフランス人がまあ アメリカアクセントの英語話すわけですよ。

たぶん普段はアメリカのコンテンツを楽しんでるから

自然と英語がアメリカのアクセントになる。

英語にも色々なアクセントがあって、

日本でいう なまり みたいなものだけでも、

例えばイギリス人の英語と アメリカ人の英語と

インド人の英語ってのはちょっとアクセントが違うわけですね。

それぞれ話せるし、コミュニケーションはできるけど

微妙に違う。

んで私がこのフランス人に「あなたの英語はアメリカアクセントで

英語上手ですね」

とか言ってしまったんだけど

ここでフランス人が怒った。

「なんだと?? 俺の英語がアメリカっぽいと

お前は言ったのか？」

と私はぶっちゃけ怒られた。

そこで気をつけないと、と思ったのが

「ああ、そうだ、欧州の人は結構アメリカ嫌いの人が多いんだ」

ということでしたが



そんな国民感情が欧州の人の奥底にあるのだろうと

思います。

それでこの国民感情を 象徴するかのごとく、

EUは2019年の11月から上層部が交代するんですね。

それでEU大統領に相当する欧州委員長が

対米自立の色が強い、ユンケルから

やはり同じく (本音では) 対米自立の色が強い

ウルスラ・フォンデアライエン に交代します。

フォンデアライエンって舌が絡みそうな名前ですが、

この人は元々、ドイツ元国防相の人ですよ。

それでこの前「このフォンデアライエンは

実際は対米従属だ！」

ってことで報道されているんだけど

これは実は目くらましですよ。

フォンデアライエンってのは思想としては

従来からのヨーロッパの国家統合を進めて

EUを「欧州合衆国」にしようとしているわけです。

それで 欧州統合軍を作るって宣言しているわけです。

以前に私の音声で

「最近 ドイツ人は「自分がヨーロッパ人のドイツ出身」

みたいな価値観、アイデンティティに変わってきてる」

って話していますが、

ここでもドイツ人の若者の価値観、アイデンティティ変化について

語っていますね。

<ゆう音声ラジオ♪>

【日本県出身のアジア人】

「国」のイメージが「県」のイメージに近くなっていく

[http://www.fxgod.net/onsei/present/asian\\_from\\_japan.mp3](http://www.fxgod.net/onsei/present/asian_from_japan.mp3)

それまさに これを進めていくのが

11月に欧州の大統領である欧州委員長になる予定の

フォンデアライエンにして

彼はこれから 欧州合衆国、 欧州統合軍を作っていく

と宣言してますね。

だから最近 EU の上層部になる人らは

全員が 「アメリカ支配から独立するぞ」という

対米自立の人たちです。

となると、やはりこれからロシア敵視ではなくて

より、ロシアとEU（ドイツ フランス）の和解は

進んでいくというのが想定できますよね。

そして最近一気に、そんな状況の中、

トランプが挑発してくれるおかげで

「米ドル決済は使わない！」と叫びやすくなってるのが

EUの状況で、

それでこの前なんかは いよいよ

INSTEX という、アメリカのイラン制裁を回避して

ユーロ建てでイラン貿易決済ができるシステムを

稼働させることをEUは発表してます。

今まではロシアとの決済やイランの決済は米ドルを

使わされていた EU でしたが

そこでユーロで決済をできるようにすると。

もうどんどんアメリカからの自立が進んでいきますよね。

それでここで大事なのは

この 米ドル決済を使わない INSTEX インステックスですが

どうも EU とイランとロシア間だけではなくて

中国も、インドもトルコなどもこの決済システムを使って

いきそうだ、ってことです。

例えば、トルコやインドは ロシアから迎撃ミサイルの

S 4 0 0を買うから、

アメリカから経済制裁されそうになっておりますよね。

それでトルコは NATO の方針には従わず、

先週あたりから S400 設置を進めてます。

仮に経済制裁されたとしても、

トルコもインドも、

INSTEX を使えば、アメリカ以外の国とは貿易できますよね。

ちなみに、軍事の話で

このロシアのS400ってのは

アメリカの最新鋭の戦闘機であるF35を迎撃できると

されてます。

迎撃ミサイルとしては相当 各国からすると

コスパが高いものですが、

これを買くと、アメリカから各国がやたら高い

割高な防衛装備を買わなくて済むんですね。

そんでS400がどんどん世界の 非米諸国に今

設置されてる状況でして、



S400が普及していく中で

どんどん

ロシアと中国が強くなる流れになります。

そうすると 非米ドル化なんかはより進んでいきまして、

世界は田中宇先生が書く多極化に進んでいくってことですね。

だからこれからは今までみたいに

アメリカ一国が経済大国で他国を世界の警察官として

支配していく体制じゃなくなりまして、

世界各国にそれぞれの地域に 経済大国が

できて、世界経済を引っ張っていくという流れになりますね。

ちなみにこの流れに沿ってるのが地方分権っていう

日本の考え方で、

これも多極化の流れですよ。

予算権限を中央の東京に集中させるのではなくて

それぞれの地方に予算権限持たせて、

独自にその地域を発展させていきたいと思いますな

流れです。

これは実は私がよくいる韓国なんかはそうなんだけど

日本では報道されないだけで

地方も経済が元気ですね。

夜もギンギラしていて地方の夜は明るい。

(写真) 韓国の地方の夜の感じ

<http://yuhfx1.com/gazou/korea/2018/artcenter1.JPG>

これからはだから均等的に世界を発展させて

それで世界全体の GDP 作っていきましょうって時代になっていく。

それで今までってのはイギリスの力ってのはなんだかんだ

強かったわけですが

それこそ日本円に対してドルなんかよりもポンドのほうが

圧倒的に強かったのがこの数十年でしたが

最近はもうイギリスの首相がポリス・ジョンソンになって

10月末から下手したら EU から無協定離脱です。

無協定離脱なんかはイギリスの終わりなんじゃないか

とも見えますが

イギリスの国際影響力はこれからどんどん低下していく

わけですね。

それで上に EU のドイツとフランスが進めている

非米ドル決済の INSTEX の話を書きましたが

同じく、アジアでも似たような動きが出ていて、

私がいるマレーシアでもマハティール首相が

東アジア共通通貨を提唱してます。

そして「東アジア通貨を金に連動させる」

って話も出てきた。

5月末の話ですね。

<https://jp.reuters.com/article/malaysia-currency-idJPKCN1T00R3>

ここでマレーシアのマハティール首相が

「金価格に連動する東アジアの共通通貨構想」

を発表してるわけです。

**共通通貨は貿易取引の決済に利用し、**

**国内取引には使用しないとしていて**

**そこで「この東アジア共通通貨は、金ゴールドに基づくべきだ。**

**金ははるかに安定しているからだ」**

**ということを行っています。**

**現在の為替制度をマハティールは批判していて**

**これが外部の要因を受けて、操作されていると批判したのだけど**

**どうもこれから ヨーロッパでは INSTEX みたいな**

**非米ドル決済の話が出てきてるけど**

アジアでは東南アジアの盟主になりつつある

マハティールが

「東アジア共通通貨構想」を言い出した。

ちなみにこの構想は実は 小沢鳩山が日本で

2009年前後には提唱していた論理だけど

これは、最近マレーシアからそれが出だしている。

これを見ると、私がマレーシアにいるからひいき目にみる

わけでもなく、

やはりマレーシアなんかの国際発言力はこれから

強化されていきそう。

それでマハティールは以前はアジア通貨危機を作った

ジョージソロスを批判したのですが、

この人は思想的には

「イギリス植民地時代」と

「日本植民地時代」を

両方見てる人なんだけど

そこで アジアの日本がなんとイギリスを打ち破ったってのが

大変衝撃的だった、ということは言ってますよね。

といっても結局 第2次世界大戦後も



マレーシアにおいてのイギリスの影響力は強くて

例えば契約様式なんかは全てイギリス式だったりするんだけど

だからマハティールってのは思想が

私が見るに 「反イギリスの植民地化」 なんですね。

だからマハティールなんかは日本を見ながら、

おそらくですが、

日本って国が表面上アメリカに支配されてるように見えて

実はイギリスの諜報機関が幅利かせてるってのも

見破っているでしょう。

ただ最近はもう イギリスのシティであつたりが

隠然と影響力を強めていた NY ウォール街の

米ドル支配つてのがどんどん弱くなつていゝつてのを

大変優れた政治家であるマハティールは知つており、

そこで「東アジア通貨構想」を東南アジア発で

今度は言い出したつてことです。

マハティール首相は安倍なんかにも一定の敬意を示していますが

日本の政治家たちなんかも

本音では官僚たちの力が弱体化してきたら

一気にこの東アジア通貨構想に乗ろうという考え方の人は

おそらく言わないだけで結構いるはず。

だから最近は、よく見ていると、

世界各国で「米ドル決済離れ」に向かって

動いておりますよね。

米ドルを使わない、

EUではINSTEX、

アジアでも東アジア通貨構想、

というのが出てきてますね。

世界中で新しい指導者がこの数年でどんどん出てきてますが

どの指導者も

「米ドル世界基軸性を放棄していく」

姿勢を持った人が指導者になっているのが分かります。

ということで今までの世界では長いこと

米ドルってのが決済で使われていたわけですが

これからは世界各国でマイナーな決済手段が

たくさん出てきて

そこで米ドル決済からの脱却が進められていく流れだ

ってことですね。

こういった大きな流れが最近形成されていますから

知っておくのも大事ですね～～

それでは！

ゆう

追伸・・・ちなみに私が日本について心配してるのは、

日本の金融機関では米ドル系の資産である米国債などの

保有率が依然として高いわけです。

これは将来的に日本の経済に大きなダメージを与えるものですから

やはり政治家たちは官僚たちに遠慮して

この辺を看過してきたけど、

そろそろ「こんなに米ドル系資産を保有していいのか」

と、金融機関のアセット配分を

考えないといけませんね。

金ゴールドの配分を増やすべきですし、

米国債やアメリカの地方債の配分を減らしていかないと

日本の金融機関はまずいでしょう。（特に体力のない地方銀行など）

この対応を日本の金融機関が数年のうちにできない場合、

その犠牲者となるのは日本の預金者ですから、

日本では早く政治家主導の政治が構築されるのが大事ですね。

選挙では NHK から国民を守る党がまさかの議席を取ったので

話題になってますが、

2009年には「左からの官僚への攻撃」で

小沢鳩山が失脚しましたが

今度は「右からの官僚への攻撃」が

米軍撤退していく中で進むか、が注目ですね。

それでは！

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDFレポート

【NY ダウが27000ドル超えの中、  
ドル円が107円台の相関現象 について2月のメルマガから考える！】

⇒ [http://fxgod.net/pdf/ny27000\\_dollar107.pdf](http://fxgod.net/pdf/ny27000_dollar107.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

PDFレポート（コラム）

「私たち人類は実は何も知らない!？」

⇒ [http://fxgod.net/pdf/muchi\\_no\\_chi.pdf](http://fxgod.net/pdf/muchi_no_chi.pdf)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆